

べんりほもの だいじほもの



くまさんが歩いていると、きつねさんが声をかけてきました。



「みて、このコート。
ふさふさのしっぽを守るのにちょうどいいのよ」

「ぼくはふさふさのしっぽなんて
持ってないからいらないよ」



また歩くとウサギさんに会いました。



「みて、この耳当て。
大きな音から耳を守るのにちょうどいいのよ」

「大きな音に敏感じゃないからいらないよ」

さらに歩くとおさるさんに会いました。

「みてよ、このズボン。
お尻がさむくないんだ」

「べつにお尻は寒くないからいらないよ」



さらにカエルさんに会いました。

「みてくれ、この竹筒を。
これがあると水の中でも息ができるんだ。」

「水の中に入らないからいらないよ」



でもほんとうは、じぶんの持ち物をもっているみんなが
うらやましかったのです。

でも、しまうふさふさなしっぽもないし、
大きな音に困ってもいないし、
お尻もさむくないし、
水の中にもぐることもありません。



「困ったなあ、

困ったことがないぞ？」

ニhニh



「くまさん、これ、みんなの余りで作ったんだ！」



それは、みんなの余り布で作ったトレイでした。

布はきつねさんのコートとおさるさんのズボン、
周りにはウサギさんの耳当てのふわふわなところに、
取ってはカエルさんの竹です。



「くまさん、よく木の実を
とってるから、
ここに入れるといいと
おもったの。」

「いつもみんなに
分けてくれるから、
お礼に作ったんだよ。」

自分の持ち物が欲しかったくまさんは、
『困ったことが困らなくなる持ち物』よりも、
もっと素敵な贈り物を手に入れたのです。





お誕生日
おめでとう

べりなもの だいじなもの

<http://p.booklog.jp/book/37871>

著者：み〜こ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/miko2/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/37871>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/37871>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.